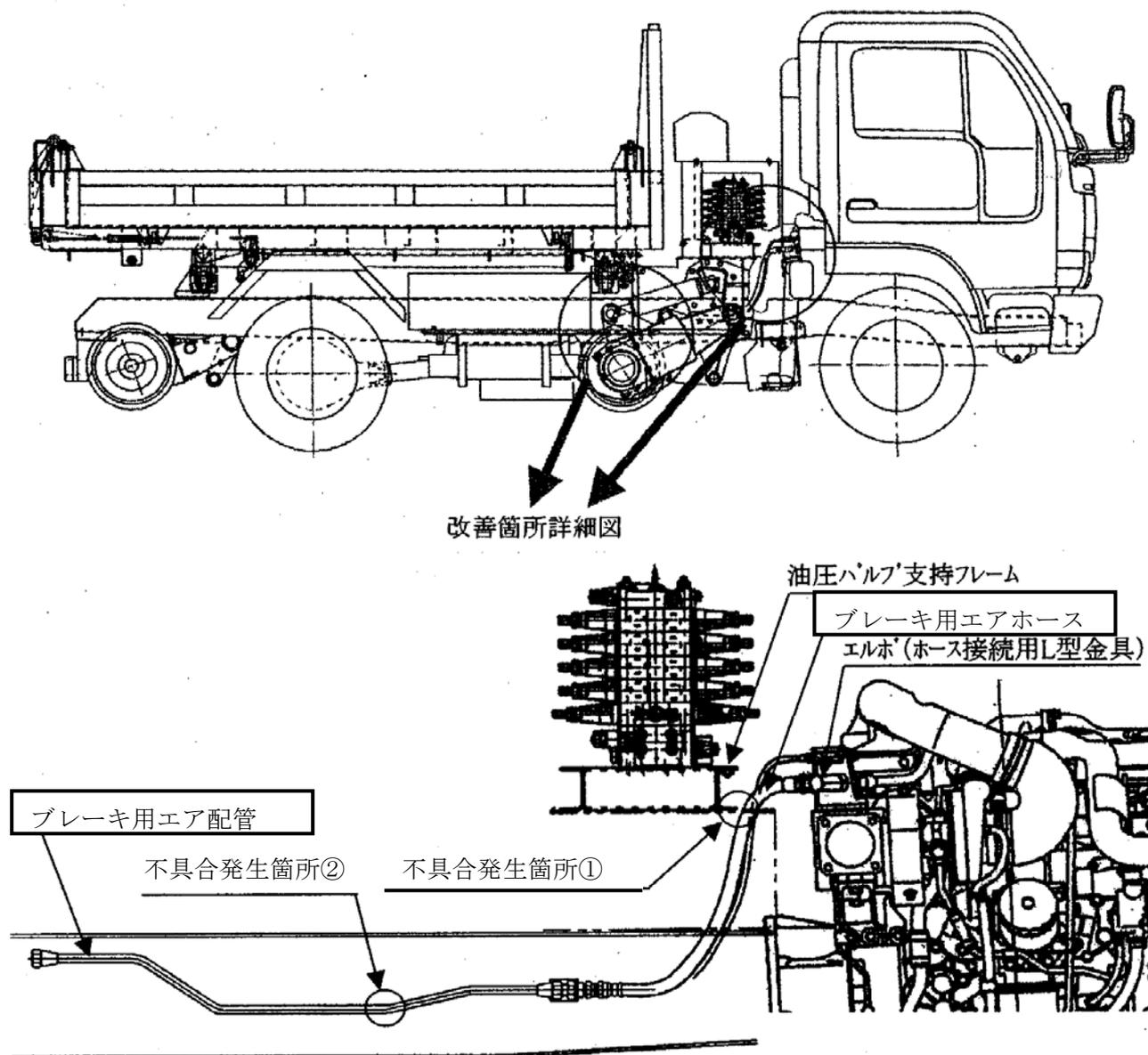


改善箇所説明図①、②



不具合発生箇所(上記①、②)

- ①軌陸車(軌道兼用車等)に改造した車両において、油圧装置及び荷台を架装するためのフレームとブレーキ用エアホースとの隙間が不適切なため、走行時の振動等により干渉するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、当該ホースが損傷し、エアが漏れ、最悪の場合、制動力が低下するおそれがある。
- ②軌陸車(軌道兼用車等)に改造した車両において、鋼製のブレーキ用エア配管の形状が不適切なため、当該配管内部に水が溜まるものがある。そのため、そのまま使用を続けると、配管内部に錆が発生し、穴があいてエアが漏れ、最悪の場合、制動力が低下するおそれがある。

改善措置の内容：

- ①全車両、ブレーキ用エアホースを対策品に交換する。
- ②全車両、ブレーキ用エア配管を対策品に交換する。

注：□内は交換部品を示す。

識別：当該エルボが取り付けくブラケットに白ペイントを塗布する。